

岩手教区報

第354号
立教185年6月1日
天理教岩手教務支庁
盛岡市馬場町3-40
TEL 019-622-7962
FAX 019-623-9597



主事・厚生部長

高橋 邦和

たすけを求める人に働きかけを

られたのだと言えるでしょう。その親神様の思いを世の中に示していく役割を担うのが、私たち教会長や教会の奥さんです。

中田善亮表統領は、立教184年『みちのとも』5月号の中で、「これからの道の歩み」の具体的な方向性を話され、その方針の一つに、「たすけを求める人に向き合うおたすけ活動」を掲げて下さいました。たすけを求めている人に出会うためには、外に向かって働きかけをしなくては、出会うことはできません。たすけを求めている人は、病院に入院しているとは限らないのです。

日本は福祉が整っているとはいえ、そのネットからこぼれ落ち、難儀を抱えている人がたくさんおられます。教祖140年祭三年千日を半年後に控え、自分にできるおたすけを見極め、おたすけ活動を進めていきましよう。そうしたおたすけのために、岩手教区厚生部では、さまざまな情報発信をしていきたいと思っています。

ところで私の剣道の腕前ですが、子どもに「剣道やっていたんだよ」と少し自慢げに話したことがあります。すかさず「えっ、何段？」と聞かれてしまいました。なので、小さな声で「6級」と答えました。



「見るも因縁、聞くも因縁」

鏡があれば、わが顔、わが姿を確認し、わが顔、わが姿の汚れやゆがみを正し改めることが出来る。鏡はなんでもありのままに映し出すことが出来るからである。しかし、犬や猫の前に鏡を置けば、自分の姿が映っているとは知らず、犬は吠え立て猫はかまうのだが、反応のない事に気付き止めてしまう事である。我々なら顔を鏡に映したとき、汚れがついているのを見れば慌てて顔の汚れを洗う事だが、鏡に映っている方の顔の汚れを消そうとする人はいないだろう。

ところが、家族をはじめ様々な人間関係の中で相手が気に食わず、不平不満に思い、腹を立て怒りまくるとすれば、その姿はあたかも犬や猫が、鏡に映るわが姿に怒り、立腹しているのと変わらない。「人の振り(動作、挙動)見て我が振り直せ」という諺どおり、自分に対する理

にかなわない、他人の不穏当な(不適切な)言動も決して人の振りと思わず、自分にもそのような言動があるのだらうと反省し、改めていける寛大な心の人間になりたいものである。

教祖は「見るも因縁、聞くも因縁」と諭されたのも、目に映り耳に聞こえる不穏当な相手の言動の原因は、皆自分の方にあるのだと悟り、決して不足に思わず、「至らぬところを教えて頂き、有難い」と感謝するくらいに心になるのが信仰者の悟り方ではないか。かかる心の治め方をお道では「たんのう」と教えられる。改めて、「たんのう」とは「足納」であり、満足の思いを心に納めることである。満足は思いや願いが叶った時とか、状況が願わしくなった時に味わせて頂ける充実感でもある。しかし、現実には願い通りにいかないことが多い。そんな中でも、喜びの心を納めるのがたんのうである。

従って、たんのうとは、自分の置かれている状況を丸ごと有難いと受け入れる絶対肯定の信心である。つまり、親神の守護の中に生かされていると十分に悟ったときに心に湧き上がる喜びの信仰ともいえる。

筆者は若い頃、胃の不調に悩むことがあった。潰瘍も腫瘍も無く、そんな折は、びらん(ただれ状態)が認められる程度

だったが、病む者にとつては切実な辛さだった。その頃、自分は天理の憩の家の事情部に奉仕していたが、ある先輩講師から次のようなお話を聞いた。

「以前、胃潰瘍を病んだ時、僕はその時の心定めとして、大きな心になれとの神様のお手引きと悟らせて頂いた。胃は袋だから小さければ破れたりする。胃病は心が固く、頑固で、先案じの強い、真面目過ぎる心を柔らかい、融通、無碍(捉われない、自由自在)の心になること。さらには①負けて結構 ②損して結構 ③笑われて結構という、私なりのたんのうの信念を貫いた時、身上患いは鮮やかにご守護頂けたよ」と聞かして頂き、まさに溜飲(りゅういん)が下がる思いだった。

行事予定 【6月分】

- 1日 役員会(10時)
- 〃 決算地方委員会(役員会議後)
- 5日 みおしえ学習会研修会(10時)
- 11日 青年会例会(18時)
- 18日 学生担当委員会例会(19時)
- 19日 女子青年例会(10時)
- 25日 後継者勉強会(10時30分)
- 〃 婦人会例会(後継者勉強会後)
- 30日 少年会例会(12時)
- 〃 主事会(15時)

中田氏は、「教誨師としての使命に勇み、非行少年、犯罪少年の更生を念じ、立ち直り、復帰する力を与えるべく、お助けの精神で尽力して参りました。思うに、少年の非行や犯罪問題は社会問題というより、家庭問題であります。親、夫婦、大人たちの心の美しい環境の中で、少年たちが育つように、信仰者、ようばくお互いが、おたすけの心で、いよいよ勇往邁進しなければと思案させていただきま

す。」と今後の課題を話されました。



所、並びに少年院での教誨師活動による矯正教育の功績の上から、本年4月29日付けで、日本国政府より「瑞宝双光章」を受章されました。平成19年秋の叙勲での「藍綬褒章」に続いて二度目の叙勲となります。



中田俊次・元岩手教区長
「瑞宝双光章」受章

中田俊次氏(花巻分教会前会長・元岩手教区長・84歳)は、天理教教誨師として、昭和57年4月より40年にわたる少年刑務



清水国朝先生

清水先生は、「教区支部におけるひのきしん活動を推進し、わかぎをはじめ、少年会員にひのきしんの喜びを伝えよう。」と話され、続いて「少年ひのきしん隊の歩み」のビデオを視聴した。その後、別室にて4月より新体制となった教区団スタッフとのねり合いがもたれ、お互いの意思疎通と活動の意義を確認させて頂いた。

員、清水国朝先生を講師に、教区巡回が実施され、21人が参加した。

「少年ひのきしん隊」
50周年教区巡回」報告



少年会



道の教職員の集い

「第47回総会」

【7月3日】

「道の教職員の集い」は、本年4月より、天理教布教部の管轄から離れ、岩手教区の活動に改められました。

この度、自立と新たな活動の第一歩として、「第47回総会」を左記の通り開催致します。多くのご参加をお願い致します。

記

日時 7月3日(日) 10時～14時
場所 岩手教務支庁

※総会参加の方は、10時の講話から参加下さい。詳しくは要項をご覧ください。



日時変更のお知らせ

7月1日に予定されていた「学生層育成者講習会」は、10月1日に変更となりました。

提唱90周年

全教一斉ひのきしんデー

教区内各地で
「報恩の汗」



金ヶ崎診療所



JR 陸中折居駅



宮古市浄土ヶ浜



花巻小学校



盛岡こども病院



大野小学校



大野小学校



洋野町立大野小学校



盛岡城跡公園



花巻小学校



大野小学校



釜石市八雲公園



金ヶ崎診療所